


トヨタに学ぶ「トヨタ流仕事の改善実践講座」

1. ネライ： 急激に変化する時代、仕事の仕方そのものを根底から見直す必要があります。誰でも今までの仕方に問題があると見ず、慣れているやり方がいいと思っています。自分の仕事を「モノのつくり方」に置き換え、TPS（トヨタ生産方式）を実践している組織をベンチマーキングしてみる必要があります。「常に最小の経費で最大の効果を挙げるには…、理想とする仕事の進め方とは…」などへの「気づき」が重要です。

TPSを学習し、強いコスト意識をもちこれまでの業務を根底から見直せます。新たな時代の新たな成果を出す、仕事の改善能力を強化する研修です。

2. 対象： 改善マインドのある中堅社員

3. カリキュラム： (研修日数：2日)

研修メニューに戻る場合は、左上のブラウザーの戻り矢印をクリックしてください。

	研修内容	研修の方法
第一日	夢の実現に向けて、常に進化、革新を追求するトップ企業に学ぶ、改善マインドと知恵を持つ人づくり 1. TPS（トヨタ生産方式）に学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> ・倒産の危機を乗り越え世界首位へ、新たな難局に直面 ・唯一、生き残るのは最もすばやく変化に対応できるもの ・TPSが「知の体系」といわれるのは 	情報提供
	2. 最強経営の実態と成果 <ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりは人づくり ・動くから「働く」へ ・「なぜ」を5回繰り返すとは ・徹底した改善とその成果の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業など、他分野の導入事例でわかること ☆問題業務のなぜ、なぜ、なぜ…と改善着手の方法	情報提供 演習
	3. 業務の棚卸しとベクトル判定 <ul style="list-style-type: none"> ・自部署の業務棚卸しの進め方 ・30%主義で強化ベクトル、削減ベクトルの判定 ☆私の業務大中分表とベクトル判定	情報提供 演習

	研修内容	研修の方法
第二日	4. 活人・活スペースのポイント <ul style="list-style-type: none"> ・改善は人を酷使するにあらず ・人を活かす、スペースを活かすとは ・創造空間のつくり方 	情報提供
	5. 仕事のなかのムダの見つけ方と改善方法 <ul style="list-style-type: none"> ・現場・現物主義を徹底する ・仕事は「作業+改善」と考える ・IE手法などを用いて現状分析をする ・トヨタ7つのムダの視点でムダを排除する ・5Sがない職場で改善しても、砂上の楼閣になる ☆7つのムダ顕在化と改善 ☆私の職場の5Sチェックリスト 	情報提供 演習
	6. 「見える化」「流れ化」でPDCAを巧く回すには <ul style="list-style-type: none"> ・危険が聞こえても動かず、見えると人は走り出す ・何を「見える化」するのか ・見える化の事例研究 ・見える化の進め方 ・物が流れ、情報が流れを整流化する ・整流化の進め方 ☆業務の見える化計画 	情報提供 演習
	6. コスト意識の強い改善マインドを持つ人づくりの進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・変革型の人材像 ・トヨタDNA（遺伝子）をつくる「七つの習慣」 ・脱常識へ「自主研の動かし方」 ☆変革を推進する職場リーダーの要件とは 	情報提供 演習

*サブテキストとして「カイゼンの教科書」（弊社代表コンサルタント著、中部経済出版刊）を使用します。